

# 第 17 回 日本体験コンテスト in 大韓民国 実施報告

## 1. 総 評

空高く、秋の訪れを感じさせる爽やかな気候の中、今年も日本体験コンテストが韓国ソウルのロッテホテルにて開催されました。今年は企画対象地域を“四国”とし、実現したい夢、体験したい事をテーマに実施されました。

今回、対象地域として四国が選定された理由は、韓国人の訪問者数が圧倒的に少ない地域であったためです（日本政府観光局統計資料より）。その原因として、韓国からのインフラの悪さも考えられますが、何よりも韓国内での四国に対する情報があまりに少ないことが原因の一つとして挙げられます。当コンテストを通じ“韓国の若者が実際に現地へ足を運び、四国の魅力を韓国へ発信して欲しい”そんな想いを込め今回のコンテストは実施されました。

当日は、平塚 様（日本政府観光局ソウル事務所次長）、沈 揆先様（東亜日報コンテンツ企画本部長兼大記者/役員待遇）、吉岡 様（全日本空輸(株)ソウル支店 総務・営業マネジャー）にご来賓頂き、当コンテストの認知度及び信頼性の高さが伺えました。

コンテストは各学生のプレゼンテーション及び審査員 3 名からの質疑応答により審査が行われました。また、授与式は入賞されなかった学生を配慮し、入賞者のみ（総 5 名）で開催され“夢・日本体験賞”として一名当り 300 万円が授与されました。入賞者は来年 3 月 1 日までに各自企画を実施し、3 月 15 日までにその実施報告書を提出します。

今年は授与式前に審査員による講評会を別途設け、審査員講評及び学生から審査員への質疑応答の場とし進行了しました。学生からは積極的に質問があがり、盛り上がりを見せたと同時に、審査する側とされる側といった立場の垣根を感じさせない、終始、親近感のある穏やかな会となりました。

今回、入賞した企画は“駅弁”“地酒”といった食に関わる内容のものから、“坂本竜馬”“博物館と美術館”といった四国の歴史や文化を探究するもの、“官民協力、地域共生”といった政策を調査する内容のものが選ばれました。書類審査で落選した企画も含めた総合的な印象として、テーマが類似した企画も多く見られたことから、韓国内での四国に関する情報が如何に少ないかを伺い知ることができました。

昨今の不安定な日韓関係の最中で開催された当コンテストではありましたが、後援社様の多大なるご支援を受けながら無事に 17 回目を迎えることができました。毎年、細々と地道に回を重ね、実施してきた当コンテストですが、不安定な情勢の中だからこそ、当コンテストのような民間レベルでの交流促進に意義が出てくるものだと自負しております。

今回入賞した 5 名には、メディアを通した情報ではなく、直に体感した日本及び四国ありのままの姿を韓国へ伝えて頂き、感性豊かな実施報告を制作して頂きたいです。また、例年の事ながら、当コンテストを通じて得た経験が今後の日韓を担う学生達にとって大きな力となり、今後大いに活躍してくれることを期待しております。

## 《コンテストの風景》



財団説明会の様子



面接の様子



## 2. 実施内容

①表彰日時：2014年9月20日（土）13：30～14：00

②開催場所：韓国ソウルロッテホテル 36 階

③主 催：一般財団法人 共立国際交流奨学財団 ソウル事務所・東京本部

後 援：文部科学省、在大韓民国日本国大使館公報文化院、日本政府観光局・ソウル事務所、東亜日報、全日本空輸株式会社ソウル支店

協 賛：(株)共立メンテナンス

④審査委員：黒田 勝弘 産経新聞 ソウル駐在 特別記者・論説委員  
李 康民 韓国 漢陽大学校 日本語文化学部 教授  
菊川 長徳 日本 国士舘大学 21 世紀アジア学部 教授

## 3. 入賞者 5 名と企画テーマ

◆四国 4 県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）で「実現したい夢」「体験したいこと」

氏 名	所属学校	企画のテーマ
キム 金 アルム	釜慶大学校	五感満足四国：駅弁と共にする汽車旅行、スローサイクリング
ファン 黄 銀智	延世大学校	官民協力を通じた地域共生プロジェクト、人生の中に植えた芸術「直島の奇跡」で第 2 の奇跡探し
キム 金 ヒョンジュ 賢 珠	亜州大学校	四国の地酒を通じて知っていく日本酒
ハム 咸 ダビン 多 彬	翰林大学校	四国、文化と出会う-美術館と博物館を中心とした文化紀行-
ユ イ ヨミ 柔 美	徳成女子大学校	日本の風雲児、坂本竜馬を探す旅



後列左より、入賞者 キム ヒョンジュ キム アルム ファン ウンジ ハム ダビン ユ ミ  
前列左より、菊川 長徳、李康民氏、黒田勝弘氏、沈 揆先氏 平塚 由紀子氏、 吉岡 大氏  
(審査委員) (審査委員) (審査委員長) (東亜日報役員待遇) (日本政府観光局ソウル事務所次長) (ANA 総務・営業マネージャー)



キム

金 アルム（釜慶大学校）

#### 五感満足四国：駅弁と共にする汽車旅行、スローサイクリング

駅弁とともにする汽車旅行は私たちに四国の風景や景観を充分に楽しめる余裕や休息の時間を提供してくれるものであり、サイクリングを通じて、両足で四国の自然を感じるのには、四国の素敵な風景の中に私たちを溶け込ませてくれる掛け替えのない経験をさせてくれると思う。

ファン ウンジ

黄 銀智（延世大学校）

#### 官民協力を通じた地域共生プロジェクト、人生の中に植えた芸術「直島の奇跡」で第2の奇跡探し

私にとって韓国に適用可能な‘第2の奇跡’というものは無条件に壊して新しいものを作るのではなく、自治体の単純な一回限りの行事の限界を超えるものです。韓国も街の随所に歴史と文化が息づく空間に多様に変貌させて現代と歴史の共存を図ることこそ、文化の融合時代にふさわしい事ではないかと思います。そのためには自分が住んでいる村と地域に対する愛情と自負心を持ち、様々な団体との連携を基にした住民協議会など、官や民の片方だけの努力ではなく、双方の協力を通じた活発な活動を展開していく必要があると思います。

キム ヒョンジュ

金 賢珠（亜州大学校）

#### 四国の地酒を通じて知っていく日本酒

韓国の伝統酒と食べ物を他国に知らせるのに最も参考になるモデルが‘日本’だと思います。日本の酒造場の伝統酒の流通構造をもとに韓国の伝統酒の流通構造に適用させることができる方法について考えることができる機会になることです。また、各酒造場の品質管理について学ぶことができる良い機会になると思います。

ハム ダビン

咸 多彬（翰林大学校）

#### 四国、文化と出会う-美術館と博物館を中心とした文化紀行

四国の直島は「アート島の島」と知られています。そして、最近韓国では‘一度行ってみたい島’になりました。ソウルの「芸術の展堂」で開かれた草間彌生の展示会のおかげです。草間彌生の設置美術品が直島にあるからです。しかし、韓国の人々に四国は依然としてよく知らない観光地です。四国には直島以外にも地域ごとに立派な美術館や博物館が多いです。でも、直島以外の美術館を訪れる方は少ないと思います。

ユ ミ

イ 柔美（徳成女子大学校）

#### 日本の風雲児、坂本竜馬を探す旅

韓国では、よく日本のことを‘近くて遠い国’と呼びます。日本は地理的にも、歴史的にも、韓国とは離れられない関係にあります。だからこそもっとお互いのことを理解しなければなりません。芸能人、食べ物などを通じた文化への理解は最近大きく発展して来たと考えています。これからは歴史の番です。お互いのことを理解し合ってこれからは昔の敵ではなく、友達になりたいと願っています。これが私がこのテーマを実現せたい理由です。

### 《講評会及び入賞授与式の風景》



講評会の様子



「夢・日本体験」賞状授与



理事長挨拶